

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	あきる野市高齢者在宅サービスセンター 五日市センター
	所在地	あきる野市館谷台 17
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係（内線） 2 6 3 2
指定管理者	名 称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川 6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外（植木等のせん定を含む。）、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページ URL		http://www.akirudai-hp.or.jp/houzin/center.html
指 定 期 間		平成 2 5 年 4 月 1 日～平成 3 0 年 3 月 3 1 日

2 施設の利用状況等について

項 目	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
開館等日（日）	244	307			
延べ利用者数 通所（人）	2,827	2,734			
前年度比（人）		△93			
前年度比（%）		96.7			
延べ利用者数 自主事業（人）	291	984			
前年度比（人）		693			
前年度比（%）		338.1			
利用料金 合計 通所（千円）	2,451	2,374			
前年度比（人）		△77			
前年度比（%）		96.9			
利用料金 合計 自主事業（千円）	871	2,006			
前年度比（人）		1,135			
前年度比（%）		230.3			

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収 入	指定管理料	13,781	13,287			
	利用料金収入	2,451	2,374			
	自主事業収入	871	2,006			
	収入計	17,104	17,667			
支 出	人件費	9,268	10,646			
	維持管理経費	4,526	5,361			
	自主事業関係経費	9,091	4,425			
	その他の支出	0	0			
	支出計	22,885	20,432			
収支(収入-支出)		△5,781	△2,765			

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)
通所事業では、利用日毎に声掛けや様子観察にて満足度や心身の状況を把握しています。げんき応援事業では講座終了後にアンケートを実施し、ご意見をいただいています。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
食事が好評で、毎回の食事が楽しみになったとの声が多く寄せられました。そのためか残食がほとんどなくなり、自立しているとはいえ、夫婦のみや独居の方が増えている中で栄養管理の一助になっているのではと思われます。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)
通所事業では継続して行っている昼食後の歩行訓練と定期的な体力測定を行うことにより、介護予防を図っており、高齢になっても介護保険サービスを利用することなく自立した生活の一助になっていると思われます。自主事業でも活発に運動プログラムを取り入れ、体幹トレーニングでは、効果的な運動方法の指導を中心に、他者とのコミュニケーションの場としても活用されています。ノルディックウォーキングでは長距離を歩ける方だけではなく、歩行能力に自信のない方でも短い時間を数回歩くことで、日常の中に上手に歩行機会を確保することが出来ました。介護職員初任者研修では少人数ならではの良さを活かし、充実した講義や実技を行うだけでなく就労支援も行いました。地域の拠点として今後も活動していきます。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
不要な電気は消す、週末や年末年始などはコンセントからプラグを抜くなどして節電を心掛けました。コピー用紙も内容に応じて裏紙を使用する、活動にリサイクル品を使用するなど工夫をしました。設備では業者と協議することで費用を抑える等して維持管理費を削減することが出来ました。今後も継続して行っていきます。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
通所、自主事業共に利用状況は今後も増加が見込まれ、施設の整備や修繕を適宜行っていく必要があると考えます。「高齢者の施設」のイメージを払拭し、高齢者のみならずセンターが地域資源として活用されることを期待します。また介護職員初任者研修では、今後ますます需要が高まる介護職の人材確保のために、更に質の確保、向上を図りたいと思います。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
通所事業では、昼食後の歩行訓練や定期的な体力測定を行うなど、介護予防の視点での活動ができており評価できます。げんき応援事業でも地域性を活かした事業運営が行われており、今後も事業参加者数の増加が見込めます。引き続き事業内容について検討を重ね、より魅力的な活動となるよう努めてください。	
経費削減の取組	
職員全体として経費削減に取り組んでいると評価できます。今後も電気の使用料の削減や施設管理経費の削減に努めてください。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
通所事業の利用者増に向けて啓発・広報活動を引き続き実施してください。また、げんき応援事業については、駅の近くという立地条件の良さを活かし、より多くの市民が活動に参加できるよう創意工夫に努めてください。事業の収支バランスの適正化について、計画的な取組を進めてください。	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。